

## 「モジホコリ（モジくん）の世話のしかた」

～生きた変形体から育てる～

### 【準備・・・まず寒天を作りましょう】

- ①小さなおなべに「水」（お湯ではなくて水）を 120mL（R1 の容器 1 本分）を入れて、そこに、寒天のもと（粉寒天）を 1 グラム（袋の中身全部）を、少しずつ入れます。さとうやエサはまぜません。
- ②弱火にかけて、「おたま」でよくかき混ぜて「ふつとつ」させます。ふきこぼれに注意しましょう。
- ③タッパーなど「フタのある容器」に「厚さ 5 mm ぐらいに」流し込んで、室温で 30 分ぐらい冷やします。あまった寒天は冷蔵庫で保存しましょう。
- ④追加で実験する時は、スーパーで寒天のもと（粉寒天）を買ってきましょう。

### 【変形体を寒天に移動しましょう】



- ①容器のふたを開けて、ようじを使って、寒天と一緒に変形体を取り出しましょう。
- ②寒天の上（中央）に置き、ふたをしておきましょう。この時点ではまだ、エサはあげません。



- ③数時間～24時間ほど置くと、変形体の菌糸が育ってきますので、まわりに少しずつエサを置きます。

### 【エサのあげかた】



- ①エサ（オートミール）は 1 日に 2～3 回、少しずつ、あげてください。特に容器のまわり（かべの近く）にあげると、外ににげません。

- ②モジホコリ（変化体）がエサを食べると、白かった餌が、黄色くなります。
- ③一度にエサをたくさんあげると、モジホコリが食べる前にカビが生えるので、注意しましょう。数時間で食べ切る量を、少しずつあげてください。



⑤1週間ぐらいで、このように容器いっぱいになります。

⑥最初に変形体が入っていた「丸い容器」で寒天ごと切り取ってまた一部を新しい寒天に引っ越しさせてください。それをくりかえすと、ずっと育てられます。

⑦エサのオートミールがなくなったら、スーパーで買ってきましょう。



⑧ほかにもどんなエサが好きなのか、試す実験もおもしろいですね。トマトやマッシュルームも食べます。

### 【関東地方鉄道網の実験】



①キッチンペーパーに、ネームペン（油性のペン）で「関東地方の地図」をえがいて、お皿にのせて水で湿らせます。

②大きな都市に、オート

ミールを1つぶずつ置きます。

③最後に「東京」に変形体のかたまりを置きます。

④時々「きりふき」で水をかけます。

⑤2日ぐらいで、勝手に「鉄道の地図」ができます。

### 【塩をきらい実験】



モジホコリは塩がきらいなので、塩をまいたところには寄り付きません。ほかにも有名な「迷路の実験」など、いろいろ工夫して試し

てみましょう。

### 【注意】

- ・実験前や実験後には、手や器具をよく洗いましょう。
- ・実験器具や寒天に、カビの胞子がかからないように、注意しましょう。
- ・変形体や実験に使った寒天を、台所の「三角コーナー」や流しにすてると、そこで再び成長してしまうことがあります。ポリ袋に密封してすてましょう。